

# 小笠原諸島返還 50 周年記念報告会「みんなの近くの世界遺産」 実施報告

## <報告会概要>

小笠原諸島は6月に返還50周年を迎え、また、3月には小笠原諸島世界自然遺産管理計画が改定されるなど、節目の年を迎えた。

一方で、管理計画改定の際には地元団体より「島内で行われている様々な取組、研究の成果が地域に見えない。」「結果が還元されていない。」などと言った声が多数寄せられた。地域の宝でもあるはずの世界自然遺産が遠い存在になっている。

そのため、世界自然遺産の管理機関では、現在の取組状況や研究成果等を広く島民や島を訪れる観光客に伝えるための報告会を開催した。報告会では、管理機関の取組紹介や地元団体からの報告の他、研究者からの研究成果の発表、会場全体での双方向でのディスカッション（いきものミーティング）、ポスター展示などを実施した。

## <配布物>

- ・基礎資料集
- ・エコバッグ（環境省：50周年記念として製作）
- ・野帳（小笠原村：50周年記念として製作）
- ・世界遺産リーフレット（小笠原村）
- ・あかぼっぼしおり（保全センター）

※子どもが参加した場合

下敷き（環境省：50周年記念として製作）



## <広報>

- ・チラシの掲示（村内掲示や商店など）
- ・村民だよりへの掲載
- ・防災無線

## <プレゼンスタイルの報告>

- ・東北大学 千葉教授：陸貝（父・母島）
- ・筑波大学 吉田教授：世界遺産（母島）
- ・首都大学東京 可知教授：生態系修復（父島）
- ・一般社団法人アイランズケア：カワラヒワ（母島）
- ・NPO 法人小笠原自然文化研究所：南崎ネコ・海鳥（母島）
- ・小笠原高校 自然保護研究会：カワニナ（父島）
- ・小笠原グリーン株式会社：地元の協同（父島）
- ・NPO 法人小笠原野生生物研究会：西島植生回復活動・アノール対策（父島）
- ・NPO 法人小笠原クラブ：希少昆虫、アホウドリ（父島）



<ポスター展示>

提供	内容	枚数
環境省小笠原自然保護官事務所	環境省 小笠原自然保護官事務所の取り組み	1
林野庁森林生態系保全センター	小笠原諸島の国有林-後世に残したい自然-	1
東京都小笠原支庁土木課	東京都の主な取組紹介	2
東京都レンジャー	東京都レンジャーの紹介	1
小笠原村環境課	世界自然遺産における小笠原村の取組	1
管理機関	・父島・母島列島における固有の陸産貝類(マイマイ)保全の取組(平成30年度)	2
亜熱帯農業センター	土中に存在する生物を死滅させる温水処理方法の検討	1
小笠原高校自然保護研究会	外来種と競合する島のカワニナを呼び戻すために	2
上智大学 織 朱實 氏	小笠原「持続可能な島にむけて ネズミ対策検証から学んだこと、ガラパゴスから学ぶこと	2
京都大学・東京大学・千葉大学	小笠原の希少な植物が 自生地で生き続けられるようにする研究	1
山形大学	小笠原諸島における <i>Rattus rattus</i> species complex の遺伝的集団構造	1
東京都農林総合研究センター 大林 隆司 氏	・小笠原(父島・母島)島外からの農業用苗の導入実態調査 ・小笠原(父島・母島)島外からの購入苗から検出された生物類	2
東北大学 千葉 聡 氏	小笠原諸島の陸産貝類:進化、多様性、保全	1
(公財)東京都動物園協会	・都立動物園におけるアカガシラカラスバトの保全活動 ・オガサワラシジミを未来につなぐ ・都立動物園水族園における小笠原陸産貝類生息域外保全の取り組み ・日本固有のチョウチョウウオ科魚類 ユウゼンを調べる	3
北海道大学・帯広畜産大学	小笠原諸島における殺鼠剤散布が野生動物に及ぼす影響の解明	1
NPO 法人小笠原野生生物研究会	小笠原の植物	2
NPO 法人小笠原自然文化研究所	母島 南崎ヒストリー	2
(一財)自然環境研究センター	小笠原諸島・兄島における外来種グリーンアノールの生態系被害と防除	1

<母島>

開催日：平成30年9月4日 19:00～21:00（ポスター展示 18:00～）

会場：母島村民会館体育館

参加者：39名+スタッフ14名（観光や仕事で来島中の島外の参加者も複数）

<父島>

開催日時：平成30年9月11日 18:00～21:00（開場 17:00～）

会場：小笠原世界遺産センター

※ポスターは9月中遺産センターに展示

参加者：77名（講演・スタッフ含む）

<当日進行>

項目	内容
開会	趣旨説明
管理機関の 取組紹介	「それぞれ3分で分かる 行政機関が世界遺産の価値を守るためにやってること」
父報告1	外来種と競合する島のカワニナを呼び戻すために 小笠原高校 自然保護研究会
父報告2	西島における植生回復活動他 NPO 法人小笠原野生生物研究会
父報告3	地域協同への取組 地域の「サステナビリティ」を目指して 小笠原グリーン株式会社
父報告4	島民による自然保護活動 NPO 法人小笠原クラブ
母報告1	15分でわかるオガサワラカワラヒワ 一般社団法人アイランズケア
母報告2	母島 南崎ヒストリー2005～2018 鳥とネコと人のものがたり NPO 法人小笠原自然文化研究所
研究成果1 (父のみ)	外来生物により大きく改変された生態系の修復: 母島での研究成果から 首都大学東京 教授 可知直毅
研究成果2 (父母)	小笠原諸島の陸産貝類の価値と保全 東北大学東北アジア研究センター 教授 千葉聡
研究成果3 (母のみ)	世界遺産をめぐる最近の動向～自然と文化の関係をめぐって 筑波大学大学院 世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻長 教授 吉田正人
父島／母島いきもの ミーティング	進め方の説明 過去の写真の紹介
閉会	講評





## <いきものミーティング>

○何かを決めるためではなく、理解を深めるための時間

○島民や観光客から島の中で「大切にしたい場所」「守りたいところ」などを付箋に書いてもらい、地図に貼り付けマップ化する。

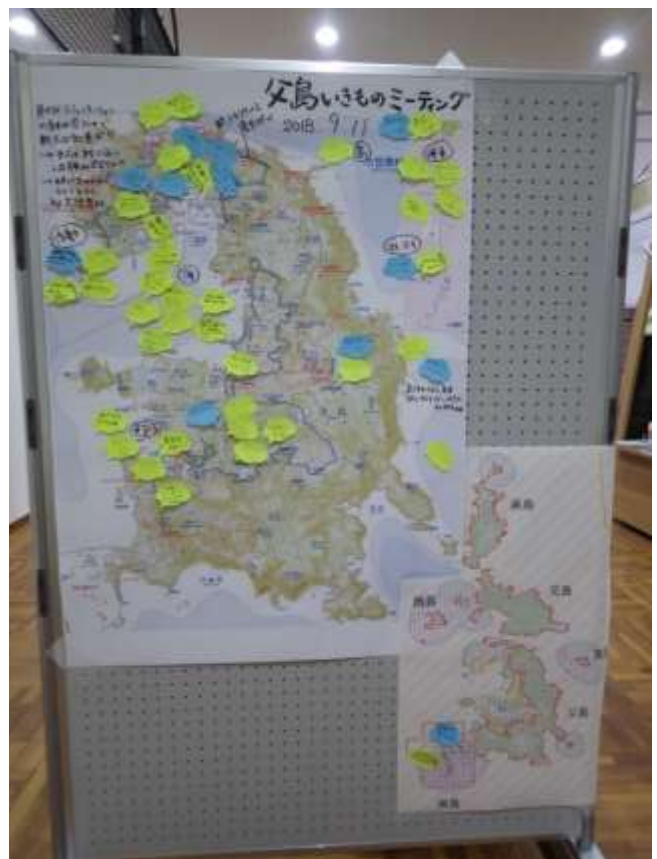
○観光客・島民の意見や感想については、必要に応じて専門家や有識者などからコメントをいただく。

→得られた成果は管理機関や関係団体の取組の参考に

母島



父島



- ・南崎 カツオドリが営巣
- ・新ヘリポート 超 Good View Point !
- ・向島 カワラヒワ
- ・平島 オガサワラセセリを守る
- ・沖港 見送り  
みんなが集まるガジュ下
- ・乳房山 色んな動植物が見られる  
オカモノアラガイ
- ・東崎 未知の自然を守りたい
- ・石門 湿性高木林の巨木やシダ
- ・北港 サンゴがきれい、海がきれい  
北港の復港(再利用)  
わずかに残る北村のおもかげ
- ・西台 マイマイパラダイス

※北港の海に関するコメントが多かったのが印象的です。また、北村を復活させてほしいと言ったコメントも会場から上がっており、北港・北村への島民の想いをとても感じました。(K)

- ・宮之浜 海の生き物が多い
- ・大神山 シマザクラ、アサヒエビネ  
みんなで修復するモデル地区
- ・西・東町 自由な都会的生活
- ・清瀬川 ウナギ、ヨシノボリ、シオマネキ
- ・二見湾 干潟
- ・扇浦 ゴミのないきれいな砂浜
- ・小港 星空、海岸林や海浜植物
- ・小曲 オオコウモリ
- ・あかぼっぽ 海の美しさ・アオウミガメ
- ・いつでも生き物に会える場所が増えたらいいな
- ・小笠原の自然をどうしていくのか将来像を決めたい
- ・小笠原の将来を担う人材育成
- ・これ以上外来種を入れないようにしてほしい

※遺産価値よりも海の話が多いのと、島民の参加が多かったのが印象的でした。また、将来像を考えたり、将来を担う人材育成など、次の世代、次の50年を見据えた取組の大切さを改めて感じました。(K)